

世界史

解答は解答用紙の指定された場所に記入すること。

I 次の文章は、アメリカ合衆国の独立について述べたものである。これを読んで、下の問いに答えなさい。

大航海時代に現在の (A) 出身のコロンブスがカリブ海のサンサルバドル島に到達したことを端緒として、ヨーロッパ各国によるアメリカ大陸への進出が始まった。16世紀にはメキシコ以南のラテンアメリカは主に (B) の支配下に入ったが、ブラジルだけは (C) が植民地化した。北米大陸では17世紀になると西インド会社を設立したオランダが大西洋岸に、(D) がカナダやルイジアナにそれぞれ入植した。

しかし北米大陸での植民地獲得競争で最終的に勝利したのはイギリスであった。16世紀末に北米大陸に進出したイギリスは、七年戦争などでの勝利を経て、領土を拡大していった。こうして形成されたイギリス領の⁽¹⁾13植民地は地域ごとに異なる性格をもっていた。温暖な南部では⁽²⁾黒人奴隷が導入されてプランテーションが発達した一方、自営農民や小規模の⁽³⁾商工業者が主体となって開発された北部では、⁽⁴⁾林業、漁業や海運業などが発達した。政治的には自治の気風が広がり、各植民地には⁽⁵⁾植民地議会がおかれ、しばしば本国政府から派遣された⁽⁶⁾総督とともに政治を担った。

こうした協力関係は、七年戦争の戦費負担などで財政状況が悪化した本国が、植民地への貿易統制や課税強化を試みはじめたことで崩れていく。本国と植民地との対立が深刻になる中で、植民地側は各植民地の代表からなる⁽⁴⁾大陸会議を開いて対応策を協議した。レキシントンとコンコードで武力衝突が発生すると、本国と植民地の間に⁽⁵⁾本格的な戦闘が始まった。戦いの中で大陸会議は⁽⁶⁾独立宣言を採択し、1777年には⁽⁷⁾国名をアメリカ合衆国とした。

戦局は当初イギリスが優位であったが、(B)、(D)、オランダなどが⁽⁸⁾植民地側を支持・支援したほか、(E) のエカチェリーナ2世が武装中立同盟を提唱・主導してイギリス海軍の動きを制約したこともあり、徐々に植民地側に有利になっていった。ヨークタウンの戦いでアメリカ・(D) 連合軍に敗れたイギリスは、1783年に (A) を結んで⁽⁹⁾アメリカ合衆国の独立を承認した。

問1 下線部(1)について、七年戦争中の1757年にインドで起きた戦いを次より選びなさい。

- ① アンカラの戦い
- ② ニハーヴァンドの戦い
- ③ ブラッシーの戦い
- ④ ワーテルローの戦い

問2 下線部(2)について、13植民地のなかで最初に形成された植民地を次より選びなさい。

- ① プリマス
- ② ヴァージニア
- ③ ジョージア
- ④ ペンシルヴェニア

問3 下線部(3)について、1804年に植民地支配から独立した最初の黒人国家として適当なものを次より選びなさい。

- ① アルゼンチン
- ② コロンビア
- ③ ハイチ
- ④ ベネズエラ

問4 下線部(4)について、植民地への施策をめぐるイギリス本国と植民地の動きとして誤っているものを次より選びなさい。

- ① 本国は航海法を強化して、本国から植民地に輸出する際に穀物にかかる関税を撤廃した。
- ② 本国が印紙法を制定すると、植民地側は「代表なくして課税なし」と唱えてこれを撤回させた。
- ③ 本国は茶法を制定し、結果として植民地に対する茶の輸出・販売を東インド会社に独占させた。
- ④ 植民地側がボストン茶会事件を起こして実力行使に出ると、本国はボストン港を軍事封鎖した。

問5 下線部(5)について、第1回大陸会議が開催された地名を次より選びなさい。

- ① サラトガ
- ② フィラデルフィア
- ③ ゲティスバーグ
- ④ リッチモンド

問6 下線部(6)について、第2回大陸会議で大陸軍の総司令官に任じられた人物を次より選びなさい。

- ① クロムウェル
- ② ナポレオン=ボナパルト
- ③ ロベスピエール
- ④ ワシントン

問7 下線部(7)について、独立宣言の起草において中心的な役割を果たした人物を次より選びなさい。

- ① ジェファソン
- ② トマス=ペイン
- ③ ルソー
- ④ ロック

問8 下線部(8)について、義勇兵として植民地軍に加わり、のちにフランス革命と七月革命にも参加したフランスの自由主義貴族を次より選びなさい。

- ① コシユーシコ(コシチュエーシコ)
- ② トゥサン=ルヴェルチュール
- ③ ダントン
- ④ ラ=ファイエット

問9 (ア)に入る適当な語句を次より選びなさい。

- ① ウェストファリア条約
- ② ヴェルサイユ条約
- ③ バリ条約
- ④ ボーツマス条約

問10 下線部(9)について、独立後のアメリカ合衆国の説明として正しいものを次より選びなさい。

- ① 各州2人選出される下院と人口比で選出される上院による連邦議会が置かれた。
- ② 連邦政府のもつ権限の強さを巡って、連邦派と反連邦派(州権派)との間で対立が生じた。
- ③ 奴隷制問題をめぐる対立を背景に、自由党と保守党の二大政党制が確立した。
- ④ 東インド艦隊司令官のペリーを日本に派遣し、江戸幕府と望厦条約を締結した。

問11 (A)～(E)には国名が入る。適当なものを次の中からそれぞれ選びなさい。

- ① イタリア
- ② オーストリア
- ③ オスマン帝国
- ④ スイス
- ⑤ スウェーデン
- ⑥ スペイン
- ⑦ デンマーク
- ⑧ フランス
- ⑨ ポルトガル
- ⑩ ロシア

II 次の中世ヨーロッパの封建社会についての問いに答えなさい。

問1 中世ヨーロッパの農業についての説明として誤っているものを次より選びなさい。

- ① 馬や牛に引かせる重量有輪犁ゆうりんすうの使用が農業生産を拡大させた。
- ② 耕地を秋耕地・春耕地・休耕地に分ける三圃制が普及した。
- ③ ドニエプル川以东への入植活動である東方植民が展開された。
- ④ 農民が収穫や畜産物の一部を教会に納める、十分の一税の制度があった。

問2 封建社会の構成要素の一つであり、ローマ帝国末期に起源をもつ土地制度を次より選びなさい。

- ① 佃戸制 ② 屯田兵制 ③ 従士制 ④ 恩貸地制度

問3 11世紀末にフランスのブルゴーニュ地方に創設され、開墾運動の先頭に立ったことで知られる組織を次より選びなさい。

- ① シトー修道会 ② ドミニコ修道会
- ③ クリュニー修道院 ④ ベネディクト修道院

問4 叙任権闘争の説明として正しいものを次より選びなさい。

- ① 神聖ローマ皇帝オットー1世は、1077年にカノッサで教皇に謝罪した。
- ② フランス王シャルル7世は、神聖ローマ皇帝を支持して教皇と対立した。
- ③ 教皇グレゴリウス7世は、世俗の権力による聖職叙任権を否定した。
- ④ 1122年に結ばれたアウクスブルクの和議によって一応の解決に至った。

問5 教皇権の至上性を主張し、1303年のアナニー事件ののちに急死した教皇を次より選びなさい。

- ① レオ3世 ② ボニファティウス8世
- ③ ウルバヌス2世 ④ インノケンティウス3世

問6 『神学大全』を著して中世スコラ学を大成した人物を次より選びなさい。

- ① アルクイン ② トマス=アクィナス
- ③ アベラール ④ ロジャー=ベーコン

問7 13世紀に帝国都市となり、ハンザ同盟の盟主としてバルト海貿易で繁栄した北ドイツの港湾都市を次より選びなさい。

- ① ヴェネツィア ② ニュルンベルク
- ③ リューベック ④ ガン(ハント)

問8 14世紀、「教皇のバビロン捕囚」の時期に教皇庁が移されていた南フランスの都市を次より選びなさい。

- ① アヴィニオン ② カレー
- ③ マルセイユ ④ オルレアン

問9 14世紀半ば以降、数度にわたってヨーロッパを襲い、農業人口を激減させた疫病を次より選びなさい。

- ① コレラ ② 天然痘
- ③ スペイン風邪 ④ 黒死病(ペスト)

問10 14世紀後半、百年戦争での重税と備兵による略奪に反発したフランス北部の農民が起こした反乱を次より選びなさい。

- ① ブガチョフの農民反乱 ② フロンドの乱
- ③ ジャックリーの乱 ④ フット=タイラーの乱

Ⅲ 次の文章は、宋代の歴史について述べたものである。これを読んで、下の問いに答えなさい。

10世紀初頭に、節度使の（ア）が唐を滅ぼすと、中国は五代十国と呼ばれる分裂の時代に入った。この混乱を取扱したのは、五代最後の王朝である（イ）の武将であった趙匡胤である。趙匡胤は（ウ）に都を置いて960年に宋(北宋)を建て、次の太宗の時代には中国本土が統一された。北宋では、皇帝権力の強化を進めて節度使の実権を奪う一方、科挙により選抜された文人官僚を重用する文治主義がとられた。都の（ウ）は、商業の中心地として経済的にも繁栄した。

同時期の中国周辺地域は大変動期にあり、モンゴル高原の東部では10世紀にモンゴル系のキタイ(契丹)が、11世紀には中国西北部で、チベット系タングートの西夏が勢力を拡大させた。北宋は軍事的に弱体であったために、これらの国々に対して和議を結んで毎年多額の銀などを贈ることを約した。こうした外交費や官僚制度を維持するための人件費などの圧迫によって、北宋の財政は逼迫した。この危機に際して、11世紀後半に帝位に就いた（エ）のもとで、宰相となった王安石が新法と呼ばれる改革を開始した。しかし、改革派と改革に反対する派閥との対立から生じた政治的混乱が激化していった。

中国東北部でツングース系の女真が1115年に金を建てるのと、金は北宋と結んでキタイを滅亡に追い込んだ。その後、北宋の連約に反発を強めた金は（ウ）を占領して北宋を滅ぼした。宋は、江南に逃れた皇族によって1127年に南宋として再興された。南宋では、金に対する和平派が抗戦派を抑え、金と和約を結び臣下の礼をとって毎年銀や絹を贈ることを約した。以後、金に華北を占領されて国土を半減させながらも、北宋時代から進んだ経済発展に支えられ、南宋は13世紀後半まで存続した。

13世紀に入ると、急激に勢力を拡大させた大モンゴル国(モンゴル帝国)が金を滅ぼして華北を征服した。第5代皇帝となった（オ）は、国号を大元と定め、大都に都を遷した。（オ）は、さらに江南にも本格的に侵入を展開し、遂に南宋を滅ぼした。

問1（ア）に入る適当な人名を次より選びなさい。

- ① 安祿山 ② 黄巢 ③ 司馬炎 ④ 朱全忠

問2（イ）に入る適当な王朝名を次より選びなさい。

- ① 後周 ② 後晋 ③ 後唐 ④ 後梁

問3（ウ）に入る適当な都市名を次より選びなさい。

- ① 開封(汴州) ② 建康 ③ 洛陽 ④ 長安

問4 下線部(1)について、科挙に関する説明として誤っているものを次より選びなさい。

- ① 科挙は、隋の文帝によって開始された。
② 科挙は、高麗や朝鮮王朝でも実施された。
③ 元代には、科挙は一度も実施されなかった。
④ 北宋では、科挙の試験に殿試が導入された。

問5（エ）に入る適当な人名を次より選びなさい。

- ① 徽宗 ② 欽宗 ③ 高宗 ④ 神宗

問6 下線部(2)について、王安石が定めた新法ではないものを次より選びなさい。

- ① 青苗法 ② 募役法 ③ 保馬法 ④ 兩税法

問7 下線部(3)について、王安石の改革に反対した司馬光が編纂した著作を次より選びなさい。

- ① 『五經正義』 ② 『史記』 ③ 『資治通鑑』 ④ 『四書大全』

問8 下線部(4)について、金によって北宋が滅ぼされたこの事件の名称を次より選びなさい。

- ① 紅巾の乱 ② 靖康の変 ③ 靖難の役 ④ 赤眉の乱

問9 下線部(5)について、北宋、南宋時代の経済の説明として誤っているものを次より選びなさい。

- ① 景德鎮が陶磁器の生産地として発展した。
- ② 紙幣の交子や会子が発行され流通した。
- ③ 商人の同業組合である作が組織された。
- ④ 長江下流域が開発され穀倉地帯となった。

問10 (オ) に入る適当な人名を次より選びなさい。

- ① オゴデイ(オゴタイ)
- ② クビライ(フビライ)
- ③ バトゥ
- ④ フレグ(フラグ)